

学校法人早稲田医療学園 第2次中期計画 重点課題 行動目標 行動計画

2025～2029年

重点課題	行動目標	担当部署	行動計画	KPI (KeyPerformanceIndicator)
1. 構造転換	A.人間科学部の改編 心身健康化学科(通信教育課程)、健康栄養学科、ヘルスフードサイエンス学科の改編	準備室 大学マネジメント戦略実行会議 法人事務局	令和6年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援事業申請書に記載	需要調査・分析、SWOT分析、ステークホルダーからのヒアリング含む
	B.心身健康科学科／通学課程の設置	準備室 大学マネジメント戦略実行会議 法人事務局	【新学科開設／補助金】令和6年度 心身健康科学科(通学課程)設置認可申請書に記載	需要調査・分析
	C.ヒューマンバイオ学部 バイオテクノロジー学科の設置	準備室 大学マネジメント戦略実行会議 法人事務局	【新学部開設】ヒューマンバイオ学部 バイオテクノロジー学科設置認可申請 【補助金】成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援申請書	需要調査・分析 ステークホルダーからのヒアリング含む
	D.収容定員の適正化	準備室 大学マネジメント戦略実行会議 法人事務局	人間科学部、保険医療医学部の収容定員の適正化(収容定員80%以上)を図る	入学定員減を実施
2. 教学マネジメントの強化	A. 教育研究の目的周知・徹底	自己点検・評価委員会	教育研究目的のさらなる周知化と浸透を図る	
	B. 3つのポリシー(AP/CP/DP)の明確化と実質化	自己点検・評価委員会 教務委員会	①新学科、新学部の3つのポリシーを点検・評価・浸透をPDCAサイクルの中で実施する	
		自己点検・評価委員会	②成績評価の厳格化 GPA分析の活用、DP対応ルーブリック等の活用 学修成果の可視化と、分析結果の公表	全学年 学修成果の総合的分析・公表☆
		自己点検・評価委員会	③大学全体としての共通の評価方針(アセスメント・ポリシー、アセスメントマップ)の活用	
	C. カリキュラム・ポリシー(CP)に基づいた教育の質保証	自己点検・評価委員会	①新学部、新学科の履修系統図・ナンバリングの改編 及び大学全体での活用	
		IR室	③授業評価アンケート、学修ニーズの把握、及び可視化	全学年 学修ニーズの調査・分析☆
		FD/SD委員会	③組織的な教育を実現するための仕組みの構築 体系的FD/SDプログラムの推進	
	D. 初年次教育／教養教育／国家資格試験対策の再構築	教務委員会	①入学前教育、新入生オリエンテーション、基礎力養成などの順次的・体系的な実施	
		教務委員会	②全学リメディアル教育の導入と充実化	
		学修支援WG	③習熟度別クラス・少人数グループ学修の設定(国家試験対策)	
		教務委員会	④ピアサポート(学生)の活用、チュードント・アシスタント(SA)体制の整備と質向上	
		教務委員会	⑤新学部・新学科の設置を踏まえた 全学共通科目の改修(コア科目)	
	E. 学生の能動的な学修を促すための取り組みと教育力及び教育の質向上	自己点検・評価委員会 教務委員会	①アクティブラーニング型授業と学外組織と連携した授業の積極的導入	アクティブラーニング実施率
		自己点検・評価委員会 教務委員会	②学生アンケート調査等の改善と有効活用 (学修成果の点検・評価の実施内容の改善、授業評価アンケート、入学前アンケート、卒後アンケートの検討)	回収率の向上化率☆
		自己点検・評価委員会 教務委員会	③シラバスチェック体制の充実	シラバスチェック状況のチェック率
		自己点検・評価委員会 教務委員会	④FD・SDの実施計画の策定と充実化推進(2024年「教職員向けFD/SD研修プログラム」などを参考に)	FD/SD実施回数
		準備室 教務委員会	⑤新学部、新学科の研究環境、ラーニングコモンズの環境整備(新学科・新学部の設置に合わせて)	
	F. 成績の可視化の拡充	準備室 教務委員会	⑥デジタル教育教材の開発と授業内活用(新学科、新学部の設置準備も踏まえて)	
自己点検・評価委員会 SD/FD 委員会		⑦学生及び教職員のICT活用能力の向上(AI,データサイエンスのリテラシーレベル)		
自己点検・評価委員会 教務委員会		①「GPA」の活用による成績の可視化		

学校法人早稲田医療学園 第2次中期計画 重点課題 行動目標 行動計画

2025～2029年

重点課題	行動目標	担当部署	行動計画	KPI (KeyPerformanceIndicator)
3. 学生確保	A. 本学との接触機会の増加	広報課 広報委員会	①オープンキャンパスの開催日程、回数の適正化／オープンキャンパス充実(内容、スタッフの質向上)	オープンキャンパス実施回数、参加者数、参加率
	B.入学定員の確保／収容定員の維持 ☆	広報課 広報委員会	②資料請求者数増加	資料請求率
		広報課 広報委員会	③ガイダンス接触者数増加	ガイダンス接触者数
		広報課 広報委員会	④進学説明会参加校数増加	説明会参加校数
		広報課 広報委員会	⑤高校教員接触数増加(高校訪問、進学説明会等)	高校訪問実施回数、教員接触率
		広報課 広報委員会	⑥埼玉、東京以外の志願者数増加に向けた取り組み／大学減少県へのアプローチなど	
		広報課 広報委員会	⑦SNS・ホームページと受験生応援サイトの充実	ホームページ閲覧率、レポート率など
		広報課 広報委員会	⑧資料請求者等のフォロー体制とダイレクトメールの活用	フォロー数(率)
		広報課 教務委員会	⑨高大接続強化(出前授業、体験授業などの充実)	高大連携校数
		C. 入試制度改革	入試委員会	①高校生を対象とする科目履修生制度の整備／入学後の単位化
		大学マネジメント戦略実行会議 法人事務局	③意欲ある質の高い入学生確保に向けた奨学金制度の検討	
		入試委員会	④入学者選抜区分の整理と区分・意義の検討	
		教務委員会	⑤入学前教育の充実と合格者へのアフターケア	
		広報委員会 広報課	⑥入学実績のある高校への積極的な広報活動	
		入試委員会	⑦学力の3要素を踏まえた多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施	
			⑧多様な背景を持つ受験者を受け入れるための入試区分の設定	
		入試委員会 広報委員会	⑨入学者の追跡調査の実施と入試制度・広報への反映	
	D.担任教員、科目担当教員による学修支援の強化	教務委員会	①担任制度の機能強化	
			②成績不振学生に対する個別指導の強化	
			②オフィスアワーの明示	
	E.学生の成長を促す学生生活支援の強化	学生委員会	①学生相談体制(心身両面)の整備・拡充(担任制度、保健室、キャンパス相談室)	
		学修支援WG 教務委員会	②1年次前期のサポート体制の強化(修学上の不安や悩み、精神的孤立の解消や居場所づくりの支援、学習支援WGの学修支援の検討)	
		教務委員会 学生委員会	③障がいのある学生への支援体制の構築	
			④自主的な学修を促す環境整備と快適な生活環境の整備	
		教務委員会	⑤奨学金制度の充実、利用案内周知	
	F.正課外活動全般の活性化(インターンシップ、国際交流、ボランティア等)	教務委員会	①課外活動全般の活性化	
		教務委員会	②学内諸活動に積極的に関わる学生数の増加	
	G.授業方法等の取り組みの活性化	準備室 教務委員会	企業連携科目、地域連携科目、インターンシップ科目等、実践的な科目の設置	

学校法人早稲田医療学園 第2次中期計画 重点課題 行動目標 行動計画

2025～2029年

重点課題	行動目標	担当部署	行動計画	KPI (KeyPerformanceIndicator)
4. 研究体制	A. 全学的な研究事業の構築	研究委員会	①心身健康科学に関する学内共同研究費の活用	共同研究数
		研究委員会	②学内表彰制度	表彰数(T&M財団)
		学会、研究委員会	③日本心身健康科学会誌、紀要を通じた全学的・研究成果の公表	掲載数
	B. 研究成果の発信	学会、研究委員会	①学会誌、ホームページを使った研究成果の発信	
		学会、研究委員会	②シンポジウム・研究会・学術集会の開催	
		学会、研究委員会	③大学院生の研究指導を通じた研究成果の公表促進	学会誌への掲載数
		大学院教務委員会	④大学院研究科の論文等指導体制の充実	
	C. 研究活動の促進に向けた研究環境整備	法人事務局 総務課	①補助金制度を活用した計画的な研究設備・施設の充実	
	D. 外部資金等の申請・獲得数の向上	総務部	①外部資金の募集情報の提供、申請、執行、報告などの支援体制の整備	外部資金獲得数
		大学院教務委員会	②科学研究費補助金の採択率向上に向けた学内制度及び研修体制の設計	科研費獲得数
大学院教務委員会		③学外研究者との共同研究による研究分担者として採択件数の増加		
6. 国際化推進	A. 短期留学・海外研修等に参加しやすい環境の整備	国際交流室 教務委員会	① 学生の海外研修および短期留学の促進	
		国際交流室 教務委員会	②海外からの留学生受け入れ促進	
		国際交流室 教務委員会	④専門領域のグローバル教育の充実	
		国際交流室 教務委員会	⑤留学奨学金制度(日本学生支援機構等)活用による促進	
	B. グローバル医療人材の育成・促進	国際交流室 教務委員会	②海外事業提携校との連携充実	
		国際交流室 教務委員会	①海外の事業連携大学との共同研究事業の推進	
		国際交流室 教務委員会	②海外の事業連携大学(東京健康科学大学ベトナム附属病院及び研究所)との心身健康科学研究の共同プロジェクトの推進	
7. 地域連携・産学官連携推進	A. 地域産学連携、企業連携の推進	準備室	①地域・産学・企業の新学科、新学部を含む需要調査	ステークホルダーからのヒアリング実施
		準備室	①定期的な連携協議会の実施	
		準備室	②地域連携科目のカリキュラム導入、社会実装科目・社会貢献科目のカリキュラム導入	SWOT分析 ステークホルダーからのヒアリング含む
		地域産学連携センター	④関連機関(自治体、企業団体、産業プラットフォームなど)との連携した研修会・セミナー・協議会の開催	SWOT分析 ステークホルダーからのヒアリング含む
	B. 社会人に向けた地域との連携事業	教務委員会	⑥リカレント・リスキル教育プログラムの提供	科目数と受講生数の推移
		大学院教務委員会	⑤公開講座の充実/サイエンスカフェの充実化	
		準備室	②企業連合、自治体プラットフォームの心身健康増進事業への参画	
		危機管理委員会	③防災・減災・災害対策事業への参画	
		準備室 地域産学連携センター	④企業・自治体の教育・研究連携事業の推進	

学校法人早稲田医療学園 第2次中期計画 重点課題 行動目標 行動計画

2025～2029年

重点課題	行動目標	担当部署	行動計画	KPI (KeyPerformanceIndicator)
8. 財政基盤の強化 (キャンパス整備計画含む)	A. 財務基盤の強化	法人事務局	①戦略的人材募集活動による有効人材確保	
		法人事務局	②寄付金収入の拡大	
		法人事務局	③戦略的な補助金申請や外部研究資金の採択強化	
		法人事務局	④経費支出の適切な見直し(業務の合理化・効率化、省エネルギー対策)	
		法人事務局	⑤人件費の適正化(多様な雇用形態の導入、学部人件費の設定、人員構成の適正化)	公募型補助金の獲得率
		法人事務局	⑥学費・奨学金等の見直し	
	B. 経営ガバナンスの強化	法人事務局	①理事会、評議員会、監事及び常任理事会の役割の明確化	
		法人事務局	③大学教学組織の見直しと意思決定、執行機能体制の強化	
		法人事務局	④危機管理体制の強化	
	C. 社会の需要に適応した教育組織の構造転換	法人事務局	①時代の趨勢、社会の変化を踏まえた構造転換:学部等改組転換及び設置構想	
	D. 目標の実効化を支援する組織体制の強化	大学マネジメント戦略実行会議	①IRと自己点検・評価の強化	
		法人事務局	②事務組織体制の恒常的な強化	
		法人事務局	③全学委員会のあり方の検討、強化	
		法人事務局 大学マネジメント戦略実行会議	④中期計画の推進と検証のための体制	
		法人事務局 大学マネジメント戦略実行会議	⑤中期計画に連動した事業計画 進捗状況の把握及び計画的な実施	
	E. 施設・設備の整備	法人事務局	①新学科・心身健康科学科(通学課程)の設置に伴う蓮田キャンパスの改修、整備計画の実施	
		法人事務局	②新学部・バイオヒューマン学部の設置に伴う新校舎の建設(蓮田キャンパス)計画ほかの実施	
		法人事務局	①学修環境や課外活動の制度・施設の充実	
	F. 教員人事制度と事務職員人事制度の見直し	法人事務局	①多様な雇用形態の導入と見直し	
		法人事務局	②教職員の優れた取り組みを評価する人事考課制度の構築☆	
G. 卒業生との連携 情報提供による寄付、大学広報の活性化	法人事務局	①卒業生に対する情報提供の充実 寄付金募集活動の継続		
備考			行動計画の各内容は、時代/社会の動向、高等教育に対する行政・企業等の動きに対応するため適宜変更修正を行う。 その内容は、年度ごとのアクションプランの中で、進捗管理を含めて反映させる。	KPIの目標値設定は2025年4月以降、 全学的に検討する